

高岡市埋蔵文化財調査概報第 73 冊

# 市内遺跡調査概報 XXII

—— 平成 23 年度、個人住宅の建設にともなう調査他 ——

2013 年 3 月  
高岡市教育委員会

高岡市埋蔵文化財調査概報第 73 冊

# 市内遺跡調査概報 XXII

—— 半成 23 年度、個人住宅の建設にともなう調査他 ——

2013 年 3 月

高岡市教育委員会

## 序

高岡市域においては、34箇所もの遺跡が周知されています。これら多くの遺跡で醸成された文化は、先祖から代々受け継がれ、現代の高岡市の風土や郷土文化をかたちづくっております。本市としましては、これら貴重な文化財を今後も保護して参る所存であります。

このたび報告いたしますのは、個人住宅等の建設にともない平成23年度に実施しました試掘調査21遺跡35地区の概要です。このうちの瑞龍寺遺跡では2箇所の地点が調査され、中世の溝状造構や上坑などの遺構群のほか、近世瓦を検出いたしました。のことによって、瑞龍寺遺跡の実態について貴重な資料を得られたと考えております。

本書が郷土における歴史探求や学術研究にご活用いただければ幸いです。

末尾になりましたが、今回の発掘調査の実施にあたり、ご協力いただきました関係各位、地元の皆様に、厚くお礼申し上げます。

平成25年3月

高岡市教育委員会  
教育長 水見 哲正

## 例 言

- 1 本書は、富山県高岡市において高岡市教育委員会が実施した埋蔵文化財発掘調査の概要報告書である。
- 2 当調査は、個人住宅の建設等の開発行為にともない実施したものである。
- 3 現地調査は平成23年度に国庫補助金の交付を受けて実施し、これにかかる報告書作成は平成24年度国庫補助金の交付を受け、高岡市教育委員会が実施した。
- 4 本書で報告する遺跡並びに調査地区は、21遺跡35箇所である。
- 5 本書に掲載する調査案件はすべて試掘調査である。
- 6 調査関係者は以下のとおりである（高岡市教育委員会文化財課）。

課 長 高岡 克宏 (23年度)  
課長補佐 富山 尚樹 (24年度)  
主 幹 中野 由美子 (23年度)  
主 壱 根津 明義 (22～24年度)  
主 事 田上 和彦 (24年度)  
事 務 員 田上 和彦 (23年度)  
嘱託職員 阿原 智子 (23年度)  
江口 雅子 (23～24年度)  
杉山 大智 (24年度)  
千田 友子 (23年度)  
中野 山美子 (24年度)  
宮野 美重子 (23年度)

7 屋外調査は23年度に根津・田上が担当し、報告書の編集は根津が担当した。

8 発掘調査及び遺物整理の従事者は次の通りである。（五十音順）

### 【現地調査】

石田 敏行 小板 達郎 高嶋 錠雄 高山 行男 馬道 弘一

### 【報告書編集作業】

竹部 光希

9 発掘調査にかかる遺物等の資料は、すべて高岡市教育委員会で一括保管している。

## 凡 例

遺構等の記号は以下のとおりである。

S D : 溝状遺構 S K : 士坑 S P : ピット S X : 歩状遺構・その他

# 目 次

序章 高岡市の歴史的環境 .....	1
瑞龍寺遺跡（前田地区） .....	4
瑞龍寺遺跡（サンプラン地区） .....	8
その他の遺跡（試掘調査） .....	13
1 越中国府関連遺跡（能松地区） .....	14
2 東木津遺跡（チューリップ調剤地区） .....	15
3 江尻遺跡（圃場整備地区3） .....	16
4 中木津遺跡（都市計画道路） .....	17
5 諏訪遺跡（市道地区） .....	18
6 波岡東遺跡（松井地区） .....	19
7 江尻遺跡（圃場整備地区4） .....	20
8 瑞龍寺遺跡（矢竹地区） .....	21
9 立野地頭田遺跡（立野地区） .....	22
10 井口本江遺跡（西側市道地区） .....	23
11 中木津遺跡（上野地区） .....	24
12 下佐野遺跡（池田地区） .....	25
13 大滝遺跡（参納地区） .....	26
14 井口本江遺跡（再開発二次調査区） .....	27
15 二歩遺跡（農業用水地区） .....	28
 挿表目次	
平成23年度の調査一覧（試掘調査） .....	29

## 挿図目次

第1図	平成23年度調査地区 (1/1万) .....	1
第2図	瑞龍寺遺跡(前田地区)位置図 (1/5,000) .....	4
第3図	瑞龍寺遺跡(前田地区)遺構平面図 (1/100) .....	7
第4図	瑞龍寺遺跡(サンプラン地区)位置図 (1/5,000) .....	8
第5図	瑞龍寺遺跡(サンプラン地区)遺物実測図.....	10
第6図	瑞龍寺遺跡(サンプラン地区)遺物実測図.....	11
第7図	瑞龍寺遺跡(サンプラン地区)遺物実測図.....	12
第8図	越中国府閑連遺跡(能松地区)位置図 (1/5,000) .....	14
第9図	東木津遺跡(チューリップ調剤地区)位置図 (1/2,500) .....	15
第10図	江尻遺跡(圓場整備地区3)位置図 (1/5,000) .....	16
第11図	中木津遺跡(都市計画道路地区)位置図 (1/5,000) .....	17
第12図	諏訪遺跡(市道地区)位置図 (1/5,000) .....	18
第13図	波岡東遺跡(松井地区)位置図 (1/5,000) .....	19
第14図	江尻遺跡(圓場整備地区4)位置図 (1/5,000) .....	20
第15図	瑞能寺遺跡(穴竹地区)位置図 (1/5,000) .....	21
第16図	立野地頭田遺跡(市立野中保地区)位置図 (1/5,000) .....	22
第17図	井口本江遺跡(西侧市道地区)位置図 (1/5,000) .....	23
第18図	中木津遺跡(上野地区)位置図 (1/5,000) .....	24
第19図	下佐野遺跡(池田地区)位置図 (1/2,500) .....	25
第20図	大滝遺跡(参納地区)位置図 (1/5,000) .....	26
第21図	井口本江遺跡(再開発二次調査区)位置図 (1/5,000) .....	27
第22図	二歩遺跡(農業用水地区)位置図 (1/5,000) .....	28

## 図版目次

- 図版01 瑞龍寺遺跡(前田地区)
- 図版02 瑞龍寺遺跡(前田地区)
- 図版03 瑞龍寺遺跡(前田地区)
- 図版04 瑞龍寺遺跡(サンプラン地区)
- 図版05 瑞龍寺遺跡(サンプラン地区)
- 図版06 瑞龍寺遺跡(サンプラン地区)
- 図版07 中木津遺跡(都市計画道路地区)
- 図版08 中木津遺跡(都市計画道路地区)
- 図版09 諏訪遺跡(市道地区)
- 図版10 波岡東遺跡(松井地区)

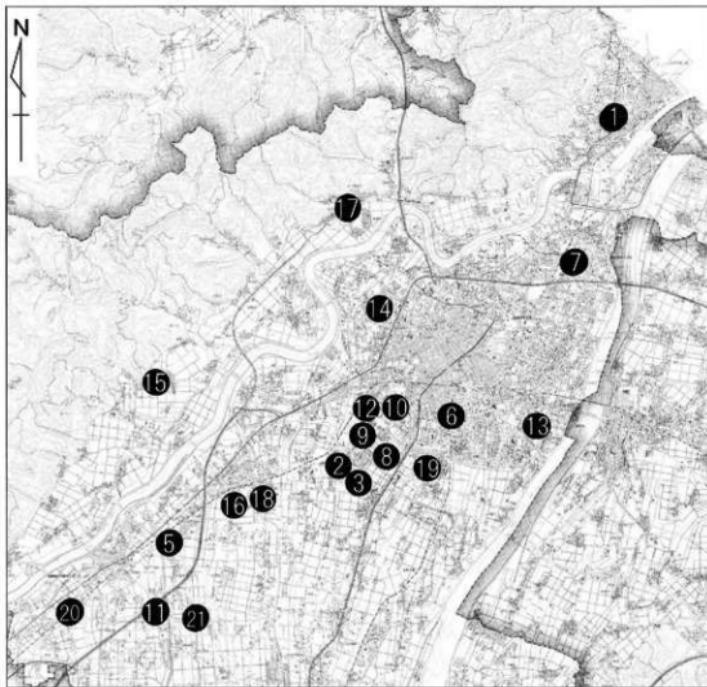
## 序章 高岡市の歴史的環境

高岡市は富山県第2位の人口を擁する都市である。その総面積は約5%にあたる209.38km<sup>2</sup>を有し、市域は山間部をはじめ丘陵部や平野部からなり富山湾とも北面する。

平野部では庄川と小矢部川水系による扇状地が形成され、小矢部川左岸では西山丘陵とよばれる標高300m以下の丘陵が連なる。平野部では北陸有数の穀倉地帯が形成され、また市域を流れる河川等古くから水運が発達した。

現在、高岡市では341箇所の埋蔵文化財包蔵地が周知されており、旧石器時代以降、現代にいたるまで人々の生活が営まれてきた。

平成23年度では、個人住宅の建設等にともない、第1図及び第1表に示す21遺跡（35調査地区）を国庫補助にて調査した。それぞれの調査概要は別途記載するとおりである。



第1図 平成23年度調査遺跡

- 1. 越中国府廻連遺跡
- 2. 西佐野千代遺跡
- 3. 濱町遺跡
- 4. 戸出古戸出遺跡
- 5. 下老子篠川遺跡
- 6. 瑞龍寺道跡
- 7. 鷺北新道跡
- 8. 下佐野道跡
- 9. 東木津遺跡
- 10. 北木津遺跡
- 11. 江尻道跡
- 12. 中木津遺跡
- 13. 井口本江遺跡
- 14. 波岡東遺跡
- 15. 斎生谷遺跡
- 16. 立野地頭田遺跡
- 17. 五十里道遺跡
- 18. 中保B遺跡
- 19. 下黒田遺跡
- 20. 大淹遺跡
- 21. 二歩遺跡

## 平成23年度の調査遺跡一覧

No.	遺跡名	読み方	所在地	時代	種別	現状
1	越中四所湖沼跡	えっちゅうくくふかんさんいんせき	伏木	古墳 山代～中世	古墳	宅地
2	西佐野町千代池跡	にしきのせんだいせき	西佐野	古墳 衛生～平安	散布地	水田
3	源流跡	すいりゆせき	諏訪佐野	奈良～中世	散布地	境内地・水田
4	芦山・山門池跡	といでふるといいでせき	芦山町下丁	小代～近世 羅文鏡飴・旅生中剪～後斯・古 鏡飴・中世	集落	水田
5	下老子鬼川池跡	しもおじきがわせき	ト老子	近世	散布地	無落・耕作地
6	鶴尾寺池跡	すりゅうじせき	鶴尾寺	古墳 近世	散布地	境内地
7	鷲北所池跡	わしきたしないせき	佐野	旅生～中世	散布地	水田・宅地
8	下牛野池跡	しもさのいせき	佐野	旅生～中世	散布地	水田
9	北木津遺跡	ひがしきづいせき	木津	旅生～近世	集落・官衙	水田・宅地
10	北木津遺跡	きたきづいせき	木津	古代～中世 羅文鏡飴・弘生中剪～後斯・古 鏡飴・中世	散布地	水田
11	河尻遺跡	えりりせき	江尻	旅生～中世	集落	水田・耕作地
12	中木津遺跡	なかきづいせき	木津	奈良～近世	散布地	水田
13	井口木丁廻跡	いぐちほんごういせき	井口木丁	奈良～中世	集落	水田・宅地
14	旅同其廻跡	はおがひがしいせき	旅同	旅生～近世	散布地	水田
15	麻生谷遺跡	あそうやいせき	麻生谷	古墳 中世	集落	水田・宅地
16	立野地新田遺跡	たてのじどうでんいんせき	立野	羅文鏡飴・奈良～平安	古墳	水田
17	五十見道原遺跡	いかみみしげいせき	今山	奈良～平安	散布地	宅地
18	中保遺跡	なかほばいせき	中保	羅文鏡飴・旅生～中世	集落・官衙	水田・宅地
19	下川原遺跡	しもくろだいせき	駅前	旅生～中世	散布地	水田
20	大隈世跡	おおおくわせき	大隈	古代・中世・近世	散布地	水田・宅地
21	二歩北跡	にふほくせき	一歩	山代～中世	散布地	耕作地

瑞龍寺遺跡(前田地区)  
瑞龍寺遺跡(サンプラン地区)

## 瑞龍寺遺跡（前田地区）

### 遺跡概観

瑞龍寺遺跡は、国宝・瑞龍寺の旧境内地を包蔵地指定したものである。平成20年度における鎮守堂跡のほか、同8年度における礎石建物等の検出など、埋蔵文化財調査ならではの成果もあがっている。

今回の調査地は、現在の境内の北東にあたり、上記した鎮守堂跡からも近接する。

### 調査概要

本試掘調査は、平成23年6月15日に個人住宅建設とともに國庫補助事業として実施したものである。対象面積296.21m<sup>2</sup>に対し試掘坑1本を設け約24.7m<sup>2</sup>をし、その結果、溝状遺構5条と土坑7基のほか、珠洲や時期不明の土師器などを検出した。

なお、今回は試掘調査ということもあり、掘削は遺構上面までにとどめ各遺構の覆土の掘削までは行っていない。

### 検出遺構

#### 土坑SK01

調査区東方で検出の長径0.2m、短径0.19mの円形土坑である。覆土は黒褐色を呈する。調査区狭小のため掘立柱建物などに組立つかは不明である。



第2図 瑞龍寺遺跡（前田地区）位置図 (縮尺1/5,000)

### **土坑 S K02**

調査区中央よりやや東方で検出された長径0.3m、短径0.2mの不整方形を呈する土坑である。覆土は黒褐色を呈する。

調査区狭小のため掘立柱建物などに組立つかは不明である。同じく方形に類する土坑 S K01とは方位が異なる。

### **土坑 S K03**

調査区中央からやや東方で検出された長径0.3m、短径0.25mの不整梢円形を呈する土坑である。覆土は黒褐色を呈する。

土坑 S K01とは6尺、同04からは7尺の位置にあるが、掘立柱建物として組立つかは不明である。

### **土坑 S K04**

調査区の中央付近で検出された、長辺0.27m、短辺1.9mを呈する方形の土坑である。覆土は黒褐色を呈する。他に比して平面形状は異質な存在であるが、正方位に近い。

### **土坑 S K05**

調査区中央より西側で検出された長円形の土坑である。覆土は暗灰褐色を呈し S D02と共通する。

### **土坑 S K06**

調査区の中央より西側で検出された不整形を呈する土坑であり、本試掘調査区における最大面積を有するものである。

片側が調査区外に達するため全容は不明であるが、最大長1.5m、確認される最大幅1.1mをはかる。覆土は暗灰褐色を呈する。西側では隣接の溝状遺構を切る。

### **土坑 S K07**

調査区西側で検出された不整梢円形の土坑である。長径0.3m、短径0.15mをはかる。覆土は暗灰褐色を呈する。

### **溝状遺構 S D01**

調査区の東側で検出された南北方向にはしる溝状遺構である。両端は調査区外に達しており全容は不明であるが、最大長1.35m、最大幅0.7mをはかる。

覆土は黒褐色をする。方位は正方位よりやや西方に傾くが、完掘をしていないため詳細は不明である。

### **溝状遺構 S D02**

調査区の東側で検出された南北方向にはしる溝状遺構である。両端は調査区外に達しており全容は不明であるが、最大長1.35m、最大幅1.3mをはかる。

覆土は暗灰褐色を呈する。方位は正方位よりやや西方に傾くが、完掘をしていないため詳細は不明である。また土坑 S K02と近接するが新旧関係は不明である。

#### 溝状遺構 S D03

調査区の中央よりやや東側で検出された南北方向にはしる溝状遺構である。両端は調査区外に達しており全容は不明であるが、最大長1.3m、最大幅0.9mをはかる。覆土は黒褐色を呈する。

南端と北端では幅が異なる。方位は正方位より西方に傾くが、完掘をしていないため詳細は不明である。

#### 溝状遺構 S D04

調査区の中央よりやや西側で検出された南北方向にはしる溝状遺構である。両端が調査区外に達しており全容は不明であるが、最大長1.2m、最大幅0.2mをはかる。覆土は暗灰褐色を呈する。方位は正方位より西方に傾くが、完掘をしていないため詳細は不明である。

#### 溝状遺構 S D05

調査区西端付で検出された南北方向にはしる溝状遺構である。両端が調査区外に達しており全容は不明であるが、最大長1.3m、最大幅1mをはかる。

覆土は暗灰褐色を呈する。方位は正方位より西方に傾くが、完掘をしていないため詳細は不明である。

### まとめ

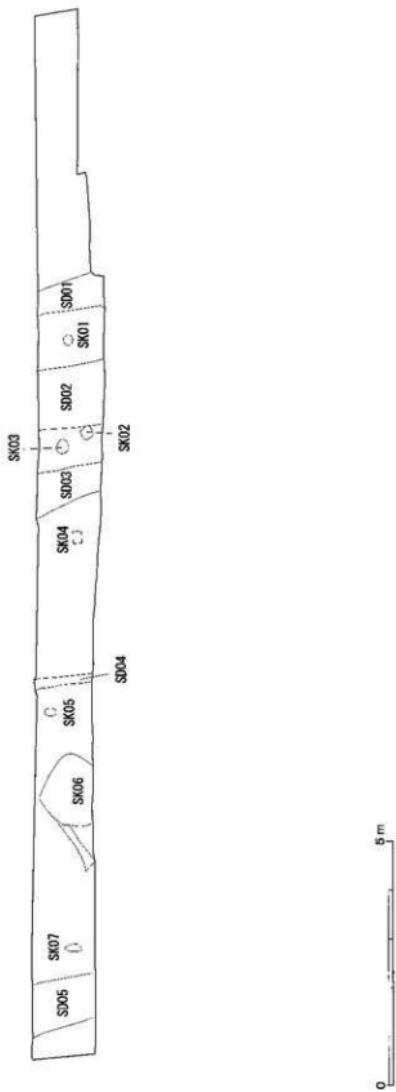
瑞龍寺遺跡は、国宝・瑞龍寺の旧境内地を包囲地の範囲とする。過去には旧「鎮守堂」の遺構を検出するなど旧景観の復元の一助をなす成果もあるが、今回の調査では出土遺物のうえから瑞龍寺建立以前の中世の様相がこの地に所在した可能性を浮上させた。

また、その点は遺構の方位からも一定の可能性を導く。今回検出の溝状遺構は概ね正方位に対しやや西側に傾く傾向にあり、現行の瑞龍寺伽藍とは若干方位が異なる。

本書において別途述べる「サンブラン地区」同様、地点的ではあるが、周辺における小規模調査の成果を結集していく果てには当該地における過去の様相も明らかとなると思われる。原因者並びに関係者の皆さまのご協力に感謝するとともに、今後の発掘調査の進展に期待をする次第である。

なお、今回は試掘調査ということもあり遺構検出面までの掘削に留めたため、各遺構の年代等をはかる資料は希少である。また、調査区が狭小であるため各遺構の関係論も不明であるが、その点は本発掘調査が今後実施される機会があればその際の課題としたい。

N



第3図 瑞龍寺遺跡（前田地区） 遺構平面図

縮尺1/100

## 瑞龍寺遺跡（サンプラン地区）

### 遺跡概観

瑞龍寺遺跡は、高岡台地の南西端に位置する。高岡台地には加賀藩2代藩主前田利長の隠居城とされる高岡城や、古定塚遺跡、小竹藪遺跡など後期旧石器時代から縄文時代中期の遺跡が確認されている。高岡城の南西側に所在する瑞龍寺は、前田利長の逝去後は菩提寺として整備され、前田墓所とを結ぶ八丁道も整備された。

### 調査概要

本調査区は高岡市上関町29番1である。宅地造成事業にともない国庫補助にて対象面積454m<sup>2</sup>に対し1本の試掘坑を設け、21.66m<sup>2</sup>を調査した。

現地屋外調査は平成23年7月8日に実施した。試掘坑からは後述の大型遺構ないし遺物包含層のほか、近世瓦を検出した。

### 検出遺構等

本調査区においては、形状等不明の大型遺構、ないしは遺物包含層が検出されている。掘削を開始した東端部から2m程度の地点で平面プランの端部を検出し、以後片側の端部まで同一土層を確認したものである。

なお、上記平面プランの端部から5mの地点で、後述する近世瓦が纏まって出土したた



第4図 瑞龍寺遺跡（サンプラン地区）位置図 (縮尺1/5,000)

めこの上面で掘削をとどめた。概して周辺は西側に向かって地形が下降する傾向にあり、本地点もその過程における埋没土、もしくは遺物包含層の可能性を有する。

### 出土遺物

本調査区からは上記の大型遺構、もしくは遺物包含層より大小37点の近世瓦が出土した。これらは2箇所からそれぞれ纏まって山上した。また試掘調査ということもあり、上面に露出した遺物のみを今回は取り上げた。

以下ではこのうちの一部について述べる。

001は、焼瓦の軒平瓦である。多くを欠損しているが辛うじて瓦当の上部が確認できる。細片につき文様などは不明である。凹面はヘラナデ、瓦当上部の下側剥離面に櫛目がみられる。

002は、平瓦の狭端部付近である。凹凸面ともヘラナデと指頭痕がみられ、凸面にはこのほかに離れ砂が付着する。側面には面取りがなされている。

007は、平瓦の広端部である。細片につき詳細な部位は不明である。凹面にはヘラナデと指頭痕がみえ、凸面には6条を単位とする櫛目がみられる。

008は、平瓦の広端部である。細片につき詳細な部位は不明である。凹面にはヘラナデと指頭痕がみえ、凸面には5条を単位とする櫛目がみられる。

009は、丸瓦の筒部から段部の付近で玉縁部は欠損する。凹面には縦方向のヘラナデと繩目が、凸面にはヘラナデがみられる。

011は、丸瓦の卡縁部付近である。凸面にはヘラナデと指頭痕が、玉縁部にヘラナデがみられる。凹面には布目と繩目がみられる。

012は、丸瓦の筒部から段部である。凹面には繩目とヘラナデが、凹面にはヘラナデがみられる。

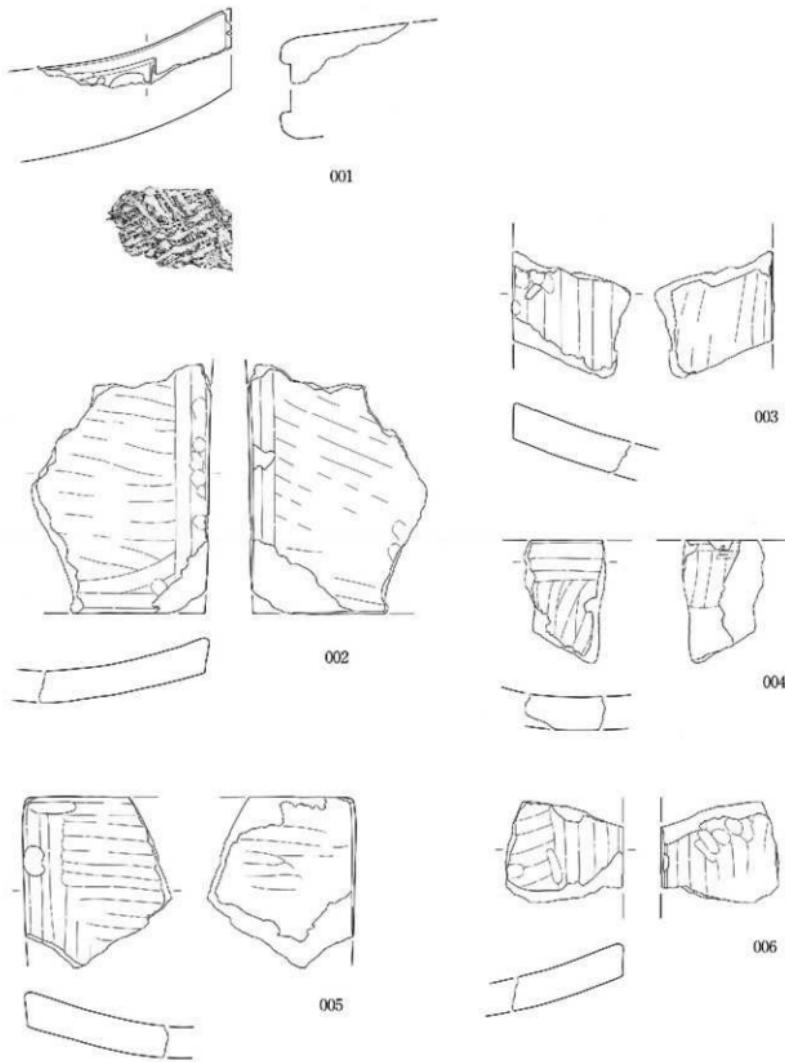
014は、丸瓦の筒部小口である。凹凸面ともにヘラナデがみられるが、凸面にはこのほかに斜め方向の指ナデと紐痕がみられる。

015は、丸瓦の側縁部である。凹面にヘラナデ、凸面には布目と繩目がみられる。

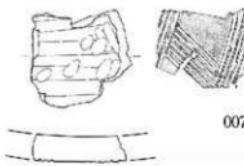
### まとめ

本遺跡は国宝・瑞龍寺の旧境内地を包蔵地の範囲とする。過去には「鎮守堂」の遺構検山をするなどの成果もあり、旧景の復元に一助をなしている。

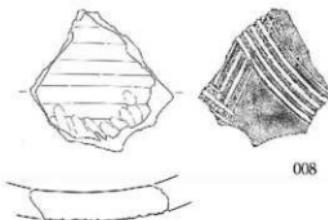
近世瓦が纏って出土した今回の調査区は、平成8年度に礎石建物の一部を検出した青山地区の付近に位置する。これら周辺の具体化も発掘調査の進展により実現していくものと思われる。



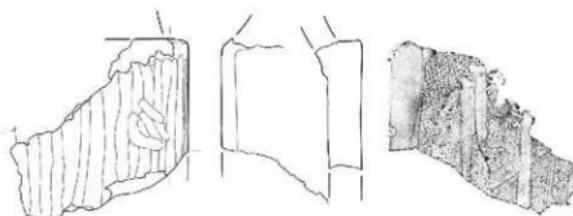
第5図 瑞龍寺遺跡（サンブラン地区）遺物実測図  
焼し瓦 軒平瓦：001 縮尺1/3 平瓦：002～006 縮尺1/4



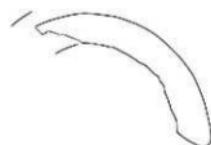
007



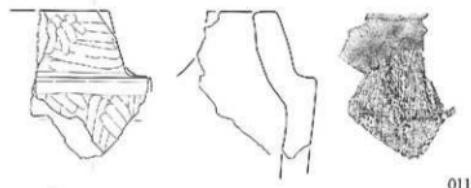
008



009



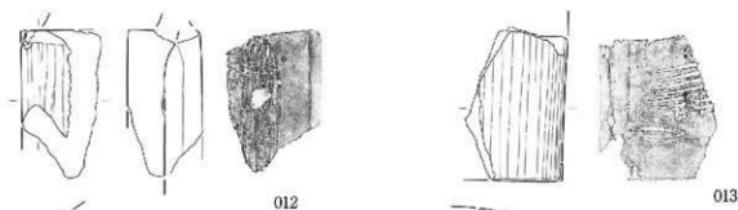
010



011

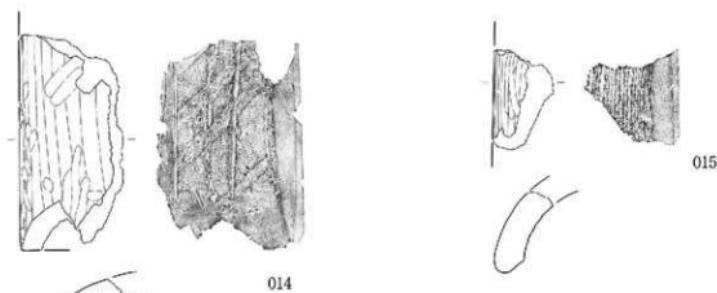


第6図 瑞龍寺遺跡（サンプラン地区）遺物実測図  
焼し瓦 平瓦：007・008 平瓦：009～011 縮尺1/4



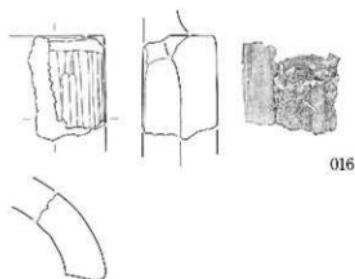
012

013



014

015



016

第7図 瑞龍寺遺跡（サンプラン地区）遺物実測図  
焼し瓦 丸瓦：012～016 縮尺1/4

## その他の試掘調査

## 1 越中国府関連遺跡（能松地区）

### 遺跡概観

越中国府関連遺跡は、高岡市北部に位置する伏木台地一帯に広がる埋蔵文化財包蔵地である。はやくから越中国府や国分寺などの律令期の官衙が比定されてきた。7世紀後半代の古代瓦を出土した御亭角遺跡や、中世の古国府城跡、さらには古墳時代の集落跡なども検出されており、総じて各時代の歴史的様相が重層的に所在する複合遺跡と認識しうる。

今回の調査地は、包蔵地の範囲の中央にあたる。近隣では平成16年に「武内地区」が調査されており、古代土師器が出土している。

### 調査概要

所在地	高岡市伏木一宮一丁目648番2
調査期間	平成23年4月18日
対象面積	797.90m <sup>2</sup>
試掘坑	6本
調査面積	約39.4m <sup>2</sup>
調査原因	個人住宅建設
調査結果	検出遺構：性格不明遺構1基 出土遺物：なし



第8図 越中国府関連遺跡（能松地区）位置図 （縮尺1/5,000）

## 2 東木津遺跡（チューリップ調剤地区）

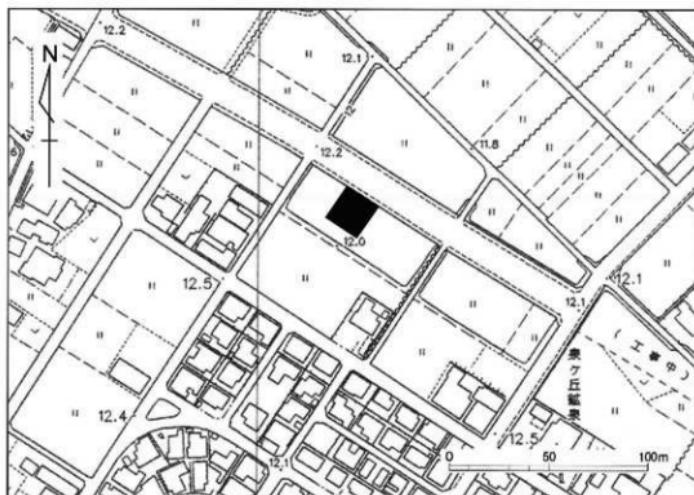
### 遺跡概観

東木津遺跡は、高岡市街地南西に位置する泉ヶ丘団地の北側に所在する。平成12年の県道建設工事に伴う調査歴等では、計画的配置を呈する掘立柱建物群や木簡をはじめとする多種多様な官衙的様相が検出され、周辺を統括する施設の存在が窺われた。ただし、平成21年度の調査では古墳時代の竪穴住居を検出しておらず、当該地には同時代の様相も重層的に所在することが明らかとなっている。

今回の調査地は、東木津遺跡としては北側の地点にあたる。近隣では平成19年に「今井地区」が調査されており、掘立柱建物址、須恵器や土師器、珠洲などが確認されている。

### 調査概要

所 在 地	高岡市佐野866番3、867番6
調査期間	平成23年7月7日
対象面積	491.63m <sup>2</sup>
試 挖 坑	2本
調査面積	約54.8m <sup>2</sup>
調査原因	店舗建設
調査結果	検出遺構：時期不明土坑　　出土遺物：古代須恵器、中世珠洲



第9図 東木津遺跡（チューリップ調剤地区）位置図 (縮尺1/2,500)

### 3 江尻遺跡（圃場整備地区3）

#### 遺跡概観

江尻遺跡は、高岡市福岡町の市街地南方に位置する。縄文晩期を最古の様相とし、以降は弥生中・後期、古墳前期、及び古代から中世といった多岐にわたる複合遺跡である。

平成13年には、能越自動車道建設にともない本発掘調査が実施され、明治12年から17年まで当該地に所在した「戸長役場」の存在が確認されている。

今回の調査は、上記高速道路の南方における圃場整備にともない平成21年度から試掘調査を実施しているものである。

#### 調査概要

所在地 高岡市福岡町江尻368-1外1筆

調査期間 平成23年8月22日

対象面積 433m<sup>2</sup>

試掘坑 1本

調査面積 33.75m<sup>2</sup>

調査原因 圃場整備

調査結果 検出遺構：溝状遺構1条

出土遺物：なし



第10図 江尻遺跡（圃場整備地区3）位置図

(縮尺1/5,000)

## 4 中木津遺跡（都市計画道路地区）

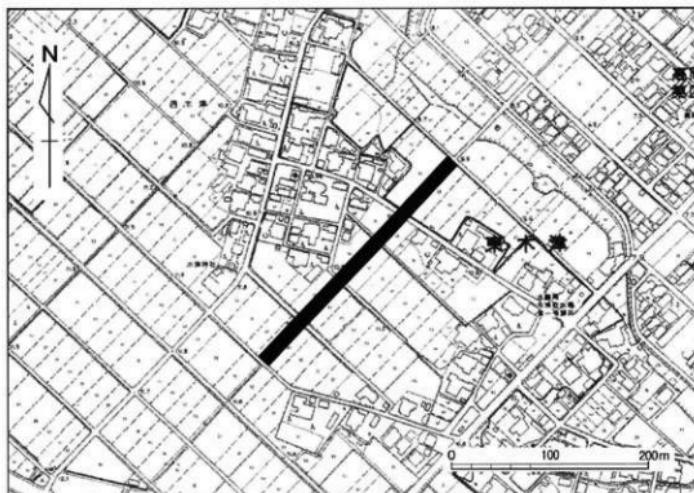
### 遺跡概観

中木津遺跡は、高岡市街地南西の佐野台地上に立地する石塚遺跡群の一角をなす。既往の調査により、縄文時代晚期のほか、古代から近世の包蔵地と考えられている。また平成22年度には旧称の木津神社遺跡を改め標記の遺跡名とするほか、区画整理にともない20,000m<sup>2</sup>以上を本調査した。

今回の調査地は包蔵地の東部に該当する。上記区画整理にともない実施した試掘調査では、縄文晚期をはじめとする検出物が得られている。

### 調査概要

所在地	高岡市木津地内
調査期間	平成23年8月24日～25日
対象面積	3,840m <sup>2</sup>
試掘坑	2本
調査面積	98.55m <sup>2</sup>
調査原因	道路建設
調査結果	検出遺構：土坑1基、溝状遺構4条、河跡2条 出土遺物：なし



第11図 中木津遺跡（都市計画道路地区）位置図

（縮尺1/5,000）

## 5 諏訪遺跡（市道地区）

### 遺跡概観

諏訪遺跡は、高岡市街地南西の佐野台地上に位置する。当初は中規模程度の包蔵地であったが、北陸新幹線建設工事にともなう調査の結果により旧HS-18遺跡と合併し現在の範囲となった。また本発掘調査の結果、弥生時代の様相も検出されている。

今回の調査地は、現在の諏訪遺跡の中央からやや東部に該当し、一般道を隔てた西側には高岡市立南条小学校が近接する。

### 調査概要

所在地	高岡市佐野347-5、467-4
調査期間	平成23年10月13日
対象面積	350m <sup>2</sup>
試掘坑	2本
調査面積	50m <sup>2</sup>
調査原因	道路建設
調査結果	検出遺構：土坑1基、溝状遺構2条、不明遺構1基 出土遺物：なし



第12図 諏訪遺跡（市道地区）位置図 (縮尺1/5,000)

## 6 波岡東遺跡（松井地区）

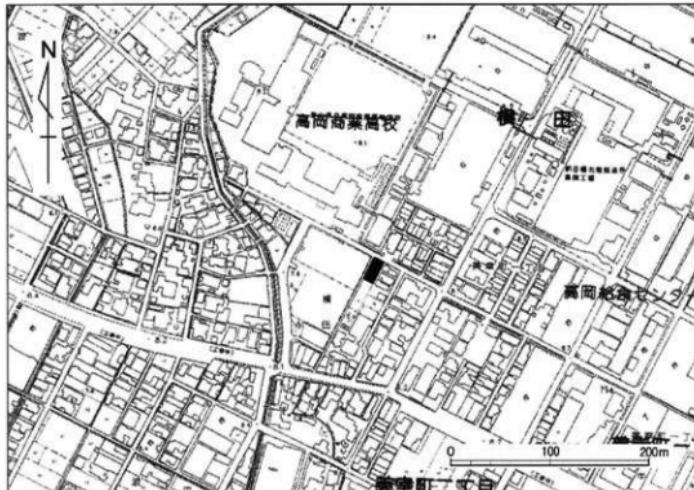
### 遺跡概観

波岡東遺跡は、高岡市街地の北方に位置する、弥生時代から近世までの様相が所在すると目される包蔵地である。周辺は市街地化がほぼ完成しており、包蔵地も本遺跡を含め5箇所を数えるのみであるが、今のところ同時共存した可能性がある。

平成7年度に分布調査を実施した以外は過去に調査歴がなく、今回が初の調査となった。

### 調査概要

所在地	高岡市横田244番47
調査期間	平成23年10月21日
対象面積	217m <sup>2</sup>
試掘坑	1本
調査面積	約23m <sup>2</sup>
調査原因	個人住宅建設
調査結果	検出遺構：時期不明土坑11基 出土遺物：時期不明須恵器、時期不明土師器



第13図 波岡東遺跡（松井地区）位置図 (縮尺1/5,000)

## 7 江尻遺跡（圃場整備地区4）

### 遺跡概観

江尻遺跡は、高岡市福岡町の市街地南方に位置する包蔵地である。縄文晩期を最古とし、以降は弥生中・後期、古墳前期、そして古代から中世の複合遺跡である。

平成13年の本発掘調査では、明治時代前半期にこの地に所在した「戸長役場」の存在が確認されたほか、上記した各時代の様相が検出されている。

今回の調査は、上記高速道路の南方における圃場整備にともない平成21年度から試掘調査を実施しているものである。

### 調査概要

所 在 地 高岡市福岡町江尻65-1

調査期間 平成23年10月27日

対象面積 1750m<sup>2</sup>

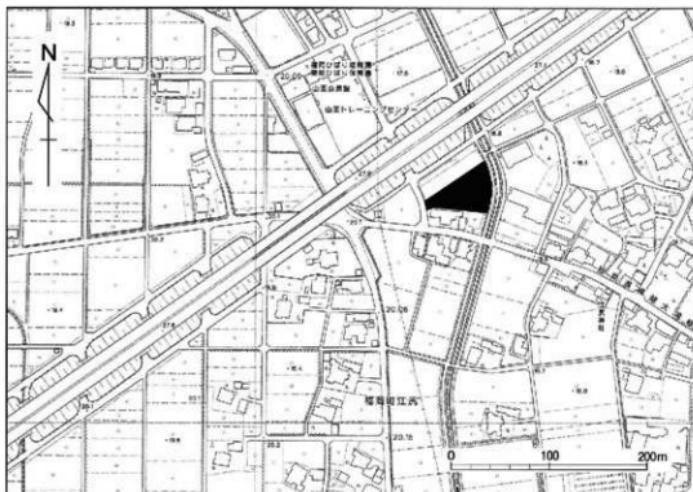
試 掘 坑 3本

調査面積 約98.85m<sup>2</sup>

調査原因 圃場整備

調査結果 検出遺構：なし

出土遺物：近世越中瀬戸、近世瀬戸、近世唐津、近世伊万里、近世磁器



第14図 江尻遺跡（圃場整備地区4）位置図 (縮尺1/5,000)

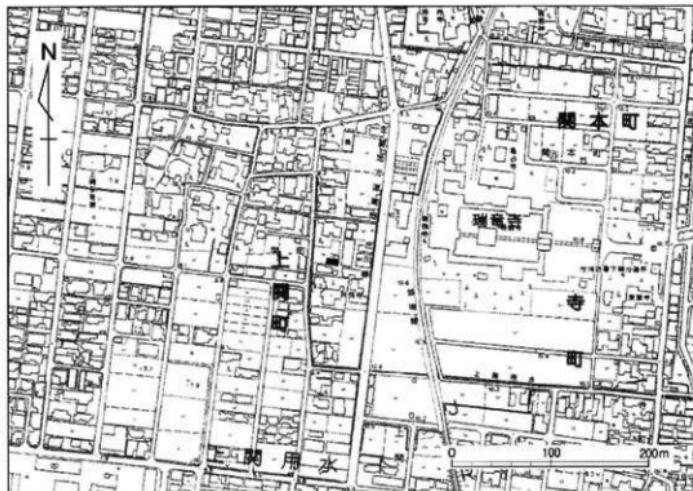
## 8 瑞龍寺遺跡（矢竹地区）

### 遺跡概観

瑞龍寺遺跡は、高岡台地の南西端に位置する。高岡台地には加賀藩2代藩主前田利長の隠居城とされる高岡城や、古定塚遺跡、小竹藪遺跡などの古代の遺跡が確認されている。その南西側に所在する瑞龍寺は、前田利長の逝去後は菩提寺として整備され、前田墓所とを結ぶ八丁道も整備された。

### 調査概要

所在地	高岡市上関町424番5
調査期間	平成23年10月31日
対象面積	159.59m <sup>2</sup>
試掘坑	1本
調査面積	約9.45m <sup>2</sup>
調査原因	個人住宅建設
調査結果	検出遺構：なし
出土遺物	中世珠洲、時期不明土師器、時期不明土器



第15図 瑞龍寺遺跡（矢竹地区）位置図 (縮尺1/5,000)

## 9 立野地頭田遺跡（市道立野中保地区）

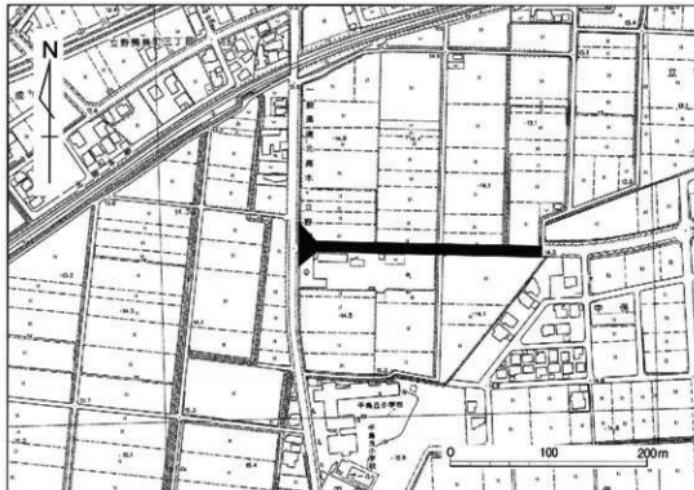
### 遺跡概観

立野地頭田遺跡は、JR西高岡駅の南西に位置する包蔵地である。分布調査等により縄文晩期のほか、古代から中世に存続したものと考えられている。

試掘調査や本発掘調査の実施はなく実態は不明である。また隣接する千鳥ヶ丘遺跡と併し現在の範囲となった。今回の調査は包蔵地中央を東西に横切るものとなっている。

### 調査概要

所在地	高岡市1239、1241、1259、1280-1、1281-1
調査期間	平成23年11月7日、14日、16～17日
対象面積	2,400m <sup>2</sup>
試掘坑	6本
調査面積	約138m <sup>2</sup>
調査原因	道路建設
調査結果	検出遺構：なし
出土遺物	中世珠洲、近世瀬戸、近世唐津



第16図 立野地頭田遺跡（市道立野中保地区）位置図 (縮尺1/5,000)

## 10 井口本江遺跡（西側市道地区）

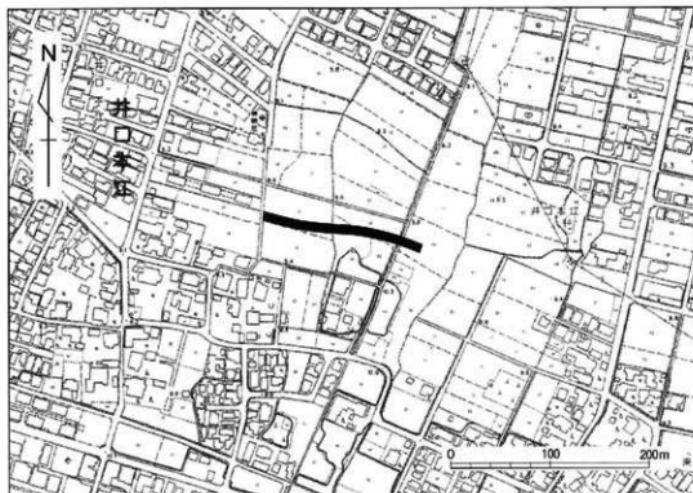
### 遺跡概観

井口本江遺跡は、JR高岡駅の南東約1.5kmに位置し、庄川と千保川とに挟まれた標高9～10mの沖積低地上にある。周辺には赤祖父角田遺跡や出来田遺跡、問屋センター遺跡や蓮花寺遺跡、赤祖父羽座間遺跡や前田墓所遺跡、瑞龍寺遺跡といった古代・中世・近世の遺跡が確認される。

本遺跡は平成2年（1990）の分布調査によりその存在が確認され、その後の平成19年度の試掘調査により、古代から近世までの散布地であるという考えに至っている。

### 調査概要

所在地	高岡市井口本江字干場272-2外11筆
調査期間	平成23年11月21～22日
対象面積	1400m <sup>2</sup>
試掘坑	4本
調査面積	約73.9m <sup>2</sup>
調査原因	道路建設
調査結果	検出遺構：溝5条、土坑 出土遺物：古代須恵器、近世唐津、近世陶器



第17図 井口本江遺跡（西側市道地区）位置図 （縮尺1/5,000）

## 11 中木津遺跡（上野地区）

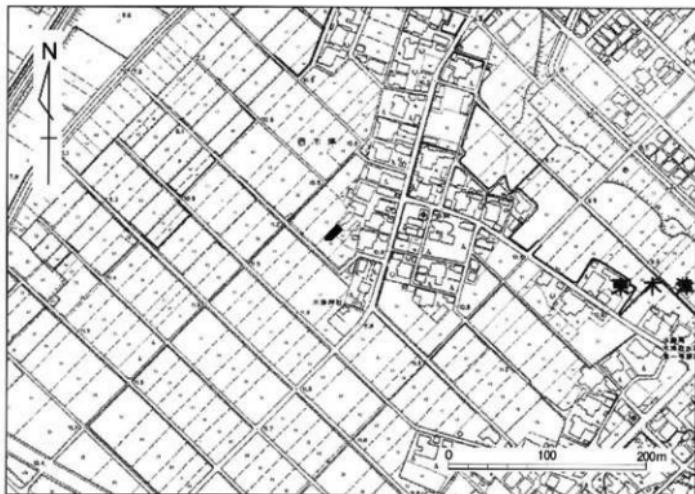
### 遺跡概観

中木津遺跡は、高岡市街地南西の佐野台地上にあり、長期存続を呈した石塚遺跡群の一角をなす。平成22年度には、旧称（木津神社遺跡）を改めるとともに、区画整理事業に先立ち20,000m<sup>2</sup>以上に本発掘調査が実施された。

今回の調査地は包蔵地の東部に該当する。上記区画整理地枠内の個人所有地を調査した。近隣においては古代のものとみられる掘立柱建物群が検出されている。

### 調査概要

所 在 地	高岡市木津958-1
調査期間	平成23年11月29日
対象面積	144m <sup>2</sup>
試 挖 坑	1本
調査面積	約17.7m <sup>2</sup>
調査原因	農業用倉庫建設
調査結果	検出遺構：時期不明土坑2基 出土遺物：近世磁器



第18図 中木津遺跡（上野地区）位置図 (縮尺1/5,000)

## 12 下佐野遺跡（池田地区）

### 遺跡概観

下佐野遺跡は、高岡市街地南西部の泉ヶ丘団地の東部に位置する。弥生後期の集落遺跡として古くから知られてきたが、近年、大規模発掘調査に伴い古代の官衙的施設としても機能したことが確認されている。周辺には佐野台地上に石塚遺跡群が分布している。

今回の調査地は、下佐野遺跡としては北東側の地点にあたる。近隣では平成18年に「堀地所・広瀬エストート企画地区」が調査されており、土坑や溝、土師器や須恵器が確認されている。

### 調査概要

所在地 高岡市佐野1081番3

調査期間 平成23年12月2日

対象面積 437m<sup>2</sup>

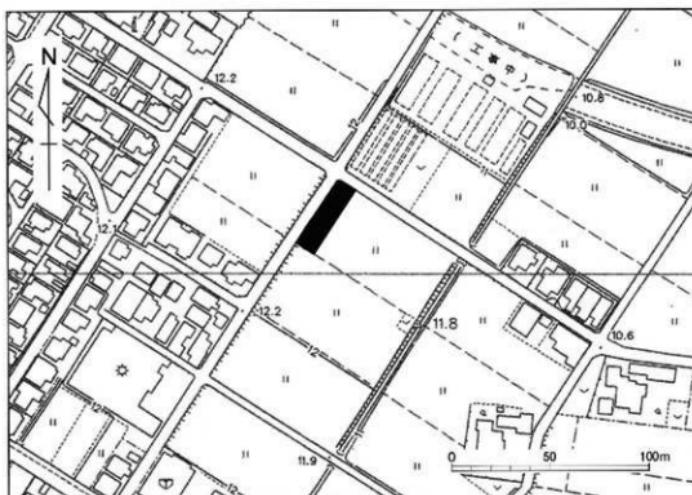
試掘坑 1本

調査面積 約27.5m<sup>2</sup>

調査原因 駐車場建設

調査結果 検出遺構：なし

出土遺物：弥生土器、古代須恵器、中世珠洲、時期不明土器



第19図 下佐野遺跡（池田地区）位置図 (縮尺1/2,500)

## 13 大滝遺跡（参納地区）

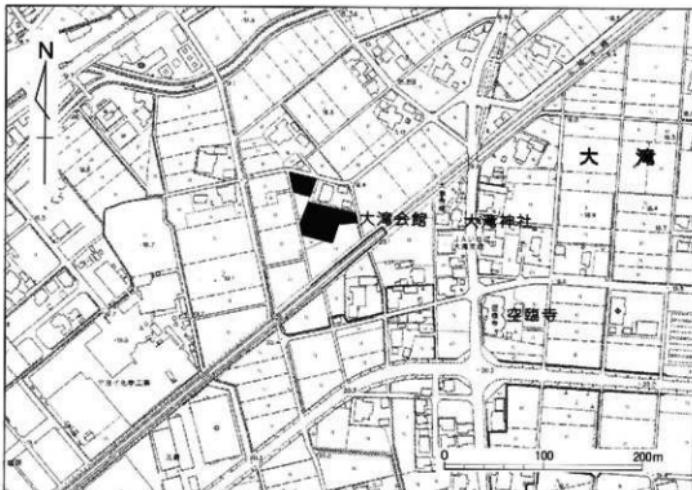
### 遺跡概観

大滝遺跡は、福岡市街地の南西に位置する近世を主体とする埋蔵文化財包蔵地である。過去8件の調査はいずれも試掘調査であるが、平成11年に実施された県道西中大滝線道路拡幅工事にともなう試掘調査では、溝状遺構2条やトイレ遺構を含む土坑3基のほか、近世の遺構を検出している。

なお、かつて存在した「西中・大滝No.3遺跡」は本遺跡の旧称である。

### 調査概要

所在地	高岡市福岡町大滝539番1
調査期間	平成24年3月21・23日
対象面積	452m <sup>2</sup>
試掘坑	2本
調査面積	約68.16m <sup>2</sup>
調査原因	個人住宅建設
調査結果	検出遺構：なし 出土遺物：古代須恵器片、近世陶器



第20図 大滝遺跡（参納地区）位置図 (縮尺1/5,000)

## 14 井口本江遺跡（再開発二次調査区）

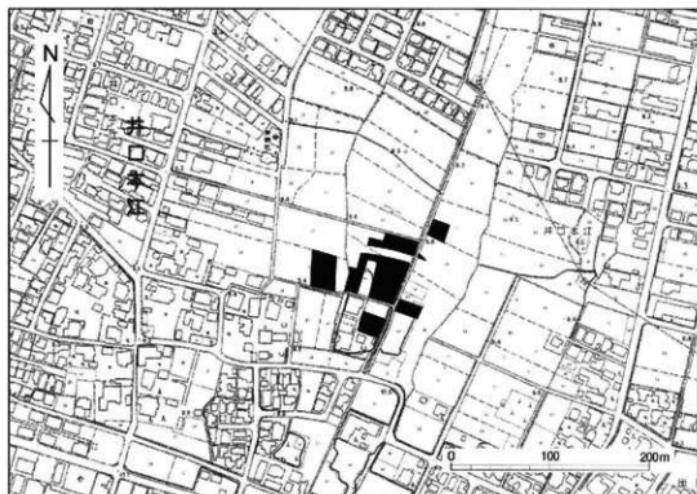
### 遺跡概観

井口本江遺跡は、JR高岡駅の南東約1.5kmに位置し、庄川と千保川とに挟まれた標高9～10mの沖積低地上にある。周辺には赤祖父角田遺跡や出来田遺跡、問屋センター遺跡や蓮花寺遺跡、赤祖父羽座間遺跡や前田墓所遺跡、瑞龍寺遺跡といった古代・中世・近世の遺跡が確認される。

本遺跡は平成2年（1990）の分布調査によりその存在が確認され、その後の平成19年度の試掘調査により、古代から近世までの散布地であるという考えに至っている。

### 調査概要

所在地	高岡市駅南4丁目11番6号
調査期間	平成24年3月8日～3月15日
対象面積	3522.9m <sup>2</sup>
試掘坑	7本
調査面積	316.37m <sup>2</sup>
調査原因	土地再開発
調査結果	検出遺構：土坑12基、ピット3基、河跡2条、 出土遺物：古代須恵器、古代土師器、珠洲、近世染付、越中瀬戸、唐津



第21図 井口本江遺跡（再開発二次調査区）位置図 （縮尺1/5,000）

## 15 二歩遺跡（農業用水地区）

### 遺跡概観

二歩遺跡は、福岡市街地の南東約2kmの地点に所在する。分布調査により古代及び中世の包蔵地と解されているが採集遺物は比較的希薄なようである。南方の自然段丘を鑑み、これを包蔵地の南限と考えられている。

分布調査を除けば今回が初の埋蔵文化財調査である。

### 調査概要

所在地	高岡市福岡町一步二歩251外8筆
調査期間	平成24年3月13日～3月21日
対象面積	1,980m <sup>2</sup>
試掘坑	10本
調査面積	100m <sup>2</sup>
調査原因	農業関連
調査結果	検出遺構：なし
	出土遺物：時期不明土師器、時期不明須恵器



第22図 二歩遺跡（農業用水地区）位置図 (縮尺1/5,000)

## 平成23年度の調査一覧（1～15以外）

No.	遺跡名	地区名	所在地	調査面積		種別	検出遺物	出土遺物	調査原因
				耕作面積	未耕作面積				
16	越中国房跡遺跡	谷内地区	高岡市伏木小所1丁目233番地、234番地	13.44a <sup>2</sup>	古墳	なし	なし	なし	個人住宅建設
17	西牛野千代	IHI刀削区	高岡市生野町178 1、479-6	42m <sup>2</sup>	散布地	なし	なし	なし	個人住宅建設
18	新井遺跡	因ツ葉オ・ト所区	高岡市生野311-4	16.35a <sup>2</sup>	散布地	なし	なし	なし	軒下塗敷
19	戸山竹子出遺跡	田中地区	高岡市芦原町下2丁子180番1	18.7a <sup>2</sup>	集落	なし	馬蹄形十字形器	無用物回収	
20	下老子代川跡	杉森地区	高岡市御前町下2丁子180番1	14.4a <sup>2</sup>	集落	なし	なし	なし	作業所建設
21	端屋守遺跡	藤原地区	高岡市上町591番地9	11.25m <sup>2</sup>	寺院	なし	なし	なし	個人住宅建設
22	鷲北新道跡	マイホーム富山地区	高岡市御前町15番、19番	30.3a <sup>2</sup>	散布地	なし	なし	なし	宅地造成
23	トヒ野遺跡	北地区	高岡市御前町561番1	5.4a <sup>2</sup>	散布地	なし	なし	なし	個人住宅建設
24	北木代遺跡	上野地区	高岡市561番1	69m <sup>2</sup>	散布地	なし	なし	なし	個人住宅建設
25	佐佐野千代	市道地区	高岡市佐野477 2	97.5a <sup>2</sup>	散布地	なし	なし	なし	道路施設
26	井日本江遺跡	リイ・エス・ヒー地区	高岡市日本江丁付近87-1外1番	33m <sup>2</sup>	集落	なし	なし	なし	軒下塗敷
27	越中国房跡遺跡	高倉地区	高岡市伏木所293番地、294番地1	46.1a <sup>2</sup>	古墳	なし	なし	なし	個人住宅建設
28	神生谷遺跡	穂余地区	高岡川岸生谷300番、395番	8.45a <sup>2</sup>	集落	なし	なし	なし	個人住宅建設
29	五十嵐道益遺跡	黒田地区	高岡市+1里西町93番	10.35a <sup>2</sup>	散布地	なし	なし	なし	個人住宅建設
30	東木代遺跡	山村地区	高岡市木代866-1、867-1	29.6m <sup>2</sup>	集落	なし	なし	なし	駐車場建設
31	越中国房跡遺跡	岡田地区	高岡市伏木小所1丁目233番地	16.4a <sup>2</sup>	古墳	なし	なし	なし	個人住宅建設
32	中保遺跡	ロクショウ地区	高岡市中保1412番	36.99m <sup>2</sup>	集落	なし	古代須弥器片	宅地造成	
33	下馬川遺跡	畠地区	高岡市下馬川番	11.1m <sup>2</sup>	散布地	なし	なし	なし	個人住宅建設

※ 调査面積とは、実際の施設平面積をさすものとする。

## 参考文献

- 木曾 豊信 1937 「東大寺鑑川地を主としたる吳西地区的古代地理（中）」『富山教育』287
- 金田 韶裕 1998 『古代江戸図と景観』 東京大学出版会
- 財團法人富山県文化振興事業団埋蔵文化財調査事務所  
1993 『能越自動車道関係埋蔵文化財包蔵地調査報告一小矢郡市～福岡町間』
- 財團法人富山県文化振興事業団埋蔵文化財調査事務所 2003 「江尻遺跡」  
『江尻遺跡・養島遺跡発掘調査報告—能越自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘報告—』
- 財團法人富山県文化振興事業団埋蔵文化財調査事務所  
2010 「HS-02（下黒田）遺跡」『北陸新幹線関係 埋蔵文化財包蔵地調査報告10.』
- 高岡市教育委員会 1988 「越中国府閼連遺跡調査概報II一昭和62年十勝與寺周辺地区的試掘調査一」
- 高岡市教育委員会 1997 「麻生谷遺跡・麻生谷新牛園遺跡調査報告」
- 高岡市教育委員会 1997 「瑞龍寺遺跡・齊山地区」『市内遺跡調査概報VI』
- 高岡市教育委員会 1998 「高岡市埋蔵文化財分布調査概報IX」
- 高岡市教育委員会 2000 「須田藤の木遺跡調査報告」
- 高岡市教育委員会 2000 「東木津遺跡」『市内遺跡調査概報X』
- 高岡市教育委員会 2000 「戸山古ノ山遺跡調査概報』
- 高岡市教育委員会 2001 「石塚遺跡・東木津遺跡調査報告」
- 高岡市教育委員会 2008 「越中国府閼連遺跡（オダケホーム2地区）」『市内遺跡調査概報XVII』
- 高岡市教育委員会 2009 「越中国府閼連遺跡（能松地区）」『市内遺跡調査概報XVIII』
- 高岡市教育委員会 2010 「瑞龍寺遺跡・富山不動院地区」『市内遺跡調査概報XIX』
- 高岡市教育委員会 2010 「井口本江遺跡（奥林地区）」『市内遺跡調査概報XX』
- 高岡市教育委員会 2011 「下佐野遺跡調査概報II』
- 高岡市教育委員会 2011 「西佐野千代遺跡（松崎地区）」『市内遺跡調査概報XX』
- 高岡市教育委員会 2011 「東木津遺跡（ビッグライム地区）」『市内遺跡調査概報XX』
- 高岡市教育委員会 2011 「江尻遺跡（圓場擬備地区）」『市内遺跡調査概報XX』
- 高岡市教育委員会 2012 「下佐野遺跡（豊原地区）」『市内遺跡調査概報XXI』
- 富山県埋蔵文化財センター 2011 『富山県高岡市 下佐野遺跡発掘調査報告書』
- 根津 明義 2005 「東大寺領須加莊の所在にかかる考古学的考察」『富山史蹟』148 越中史蹟会
- 根津 明義 2009 「古代越中における官衙的様相と在地社会」  
火本秀樹編『環日本海歴史民俗学叢書13 古代の越中』 高志書院
- 森 隆 1996 「江尻遺跡における近代屏風跡について」  
『埋蔵文化財調査概報一平成17年度』 財團法人富山県文化振興財團埋蔵文化財事務所

写 真 図 版



1 第1トレンチ全景（西方から）



2 第1トレンチ全景（東方から）

図版〇二 瑞龍寺遺跡（前田地区）



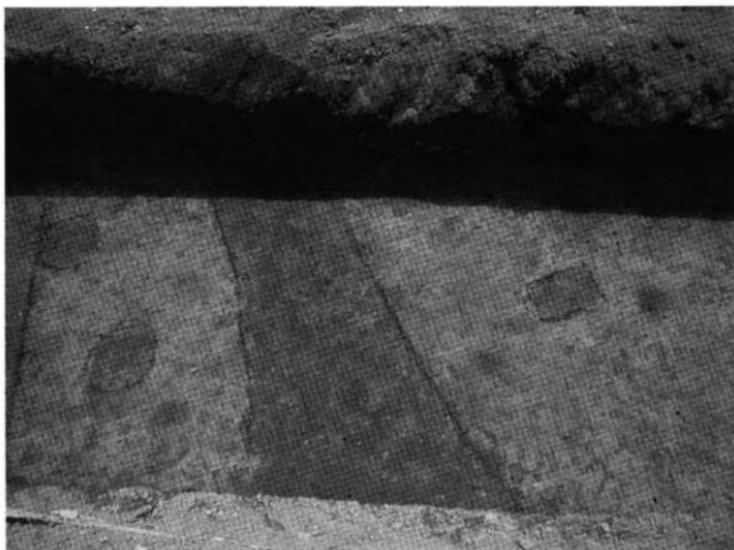
1 土坑SK06（北方から）



2 溝状遺構SD04、土坑SK05（北方から）



1 溝状遺構SD02、土坑SK01、02、03（北方から）



2 溝状遺構SD03、土坑SK02、03、04（北方から）

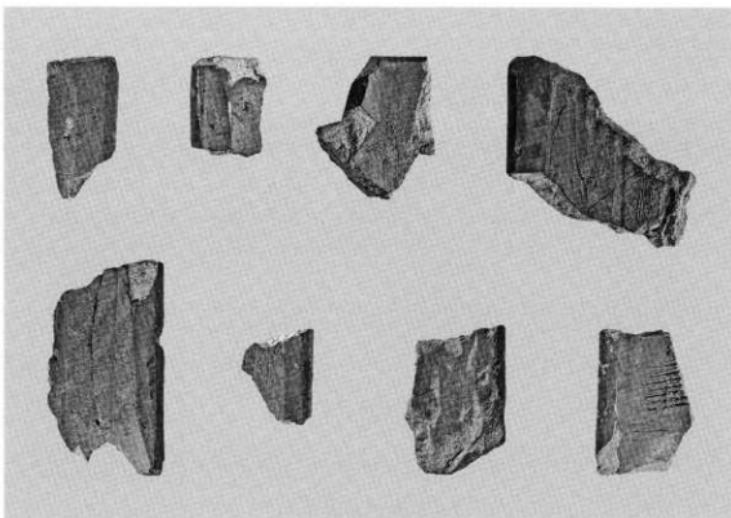
図版〇四 瑞龍寺遺跡（サンパラン地区）



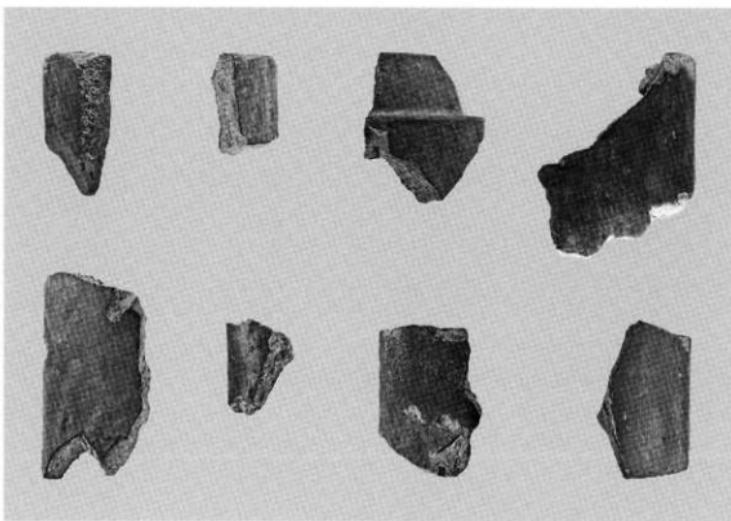
1 第1トレンチ全景（東方から）



2 大型遺構または遺物包含層（東方から）

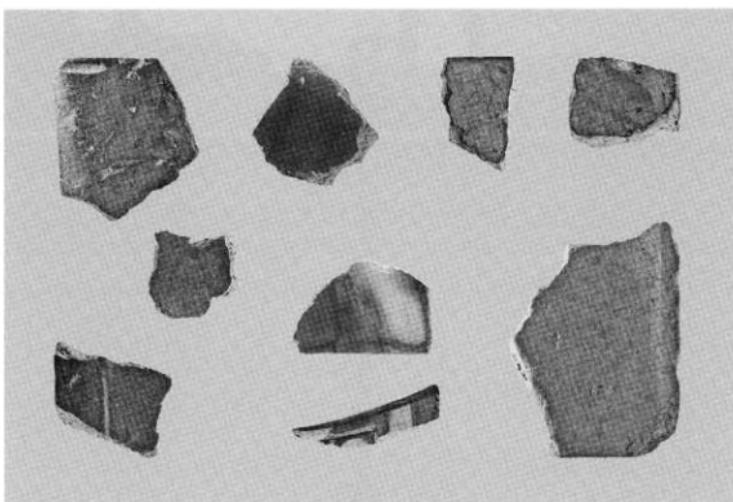


1 出土遺物（近世瓦）

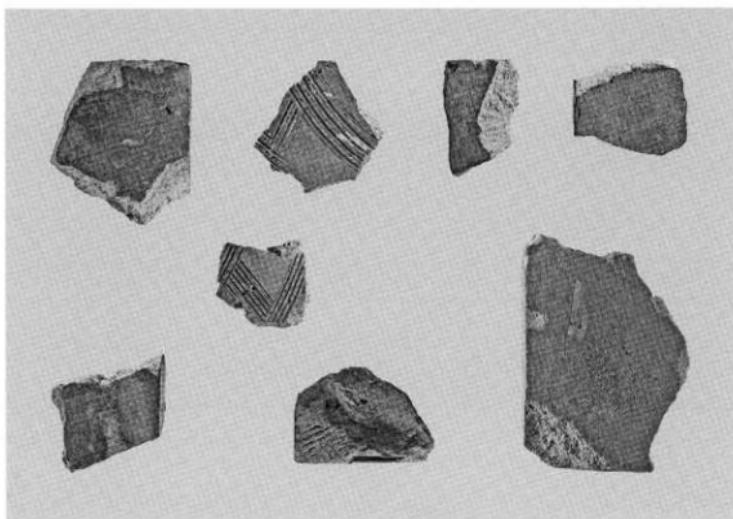


2 出土遺物（近世瓦）

図版〇六 瑞龍寺遺跡（サンブラン地区）



1 出土遺物（近世瓦）



2 出土遺物（近世瓦）



1 第1レンチ調査状況（北方から）



2 第1レンチ北端部遺構確認状況（南方から）

図版〇八 中木津遺跡（都市計画道路地区）



1 第2トレンチ全景（北方から）



2 第2トレンチ北端部遺構確認状況（南方から）



1 第2トレンチ全景（西方から）

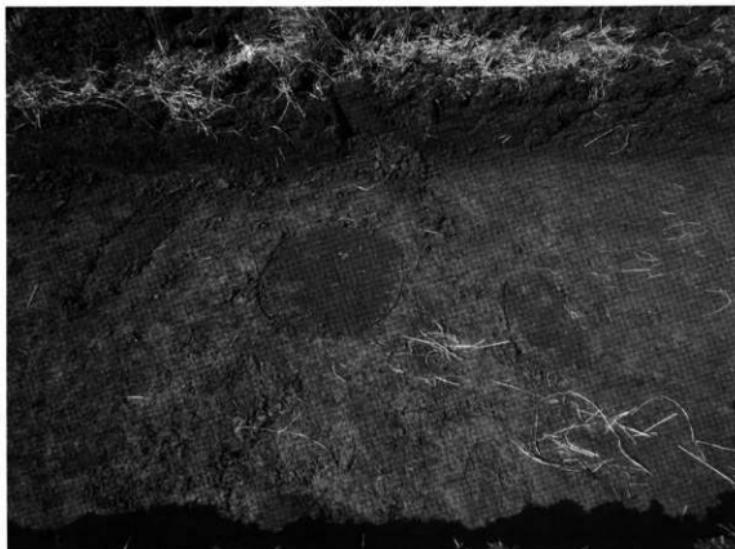


2 第2トレンチ西端部遺構確認状況（北方から）

図版一〇 波岡東遺跡（松井地区）



1 第1トレンチ全景（南西から）



2 トレンチ中央部土坑群検出状況（南東から）

# 報告書抄録

ふりがな	しないいせきちょうさがいほうにじゅうに							
書名	市内遺跡調査概報 X XII							
副署名	平成23年度、個人住宅の建設にともなう調査他							
シリーズ名	高岡市埋蔵文化財調査概報							
シリーズ番号	第73冊							
編集機関	高岡市教育委員会							
所在地	〒933-8601 富山県富山市広小路7番50号 TEL 0766-20-1463							
調査担当者	根津明義 山上和彦							
編集者	根津明義 江口雅子							
発行年月日	西暦2012年3月16日							
所収遺跡名	所在地	市町村コード	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
瑞龍寺遺跡 前田地区	富山県 高岡市 上間町	016202	202145	36° 44' 12"	137° 00' 41"	110615	24.7m <sup>2</sup>	個人住宅建設
瑞龍寺遺跡 サンプラン地区	富山県 高岡市 上間町	016202	202145	36° 44' 10"	137° 00' 34"	110708	21.66m <sup>2</sup>	宅地造成
その他の遺跡 各調査地区	富山県 高岡市内	016202	—	—	—	110414 ~ 120206	1681.76m <sup>2</sup>	住宅建設等
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物			特記事項	
瑞龍寺遺跡 前田地区	寺院	中世	溝状遺構4条 土坑6基	中世珠洲 時期不明土師器				
瑞龍寺遺跡 サンプラン地区	寺院	近世	遺物包含層	近世瓦				
その他の遺跡 各調査地区	—	—	—	—				

高岡市埋蔵文化財調査概報第73冊 市内遺跡調査概XXII

— 平成23年度、個人住宅の建設にともなう調査他 —

2013(平成25)年3月16日 発行

編集・発行 高岡市教育委員会  
〒933-8601 富山県高岡市広小路7番50号  
TEL 0766-20-1463

印 刷 株式会社トーダフ  
〒933-0826 高岡市佐野1386-1  
TEL 0766 24 2501

